

2021年度 事業報告書

2021年4月 1日から

2022年3月31日まで

学校法人 大阪鶴見学院

1. 法人の概要

名 称 学校法人 大阪鶴見学院(昭和55年5月29日法人設立)

代表者 理事長 佐々木 富美代

住 所 大阪市鶴見区鶴見4丁目9番17号

電 話 06-6931-3368

FAX 06-6932-8800

設置する学校

住 所 大阪市鶴見区鶴見4丁目9番17号

名 称 鶴見幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 13名

理事会 3回開催

評議員会 3回開催

職 員 30名

2. 事業概要

(鶴見幼稚園)

《教育方針》

基本的な生活習慣を身につけることを目標とし、たくましい心身や思いやりの心を育て、よく考えて行動できる子どもの育成をします

《教育内容》

異年齢児交流や自然観察の機会も多くとり入れ、のびのびと「自主、協力、創造」する力を培う保育を展開しています。3歳児は、きめ細やかな保育を行うためサポートの先生が入ります。

《保育時間》

- ・月曜日から金曜日(土曜休園)午前10時～午後2時
- ・早朝預かり保育:午前7時30分～午前9時
- ・通常預かり保育:午後2時～午後5時
- ・延長預かり保育:午後5時～午後6時30分

《納付金》

保育料 年額336,000円(12分割均等納付)

保育料無償化により月25,700円減免

給食費 月額 5,000円

教材費 月額 1,100円

教育安全対策費 月額 1,500円

バス維持費 月額 3,500円

《入園時の費用》

入園料 50,000円

検定費 5,000円

《預かり保育内容》

- ・夏期(8月10日～20日を除きます)約25日間、冬期約5日間、春期約10日間の約計40日程度あります。
- ・早朝預かり保育:午前7時30分～午前9時
- ・通常預かり保育:午前9時～午後4時30分
- ・延長預かり保育:午後4時30分～午後6時30分

《行事実施状況》

春の遠足、玉ねぎ採り、じゃがいも掘り、参観、プール、七夕まつり、デイキャンプ、運動会、さつまいも掘り、製作展、音楽鑑賞会、観劇会、みかん狩り、クリスマス会、豆まき、雪あそび、発表会、おわかれ遠足、さよならパーティー、誕生会、懇談会

《施設関係》

園地面積 2065㎡ 運動場面積 1539㎡

《設備関係》

いちごのおうちクッションセット、テーブル椅子セット、PC、音響機器セット

《事業報告》

2021年度は新型コロナウイルスの感染状況が11月から年明けまでには第5波が収まり社会・経済活動の再開で進展するかと思われたが、1年半ば、より感染力の強いオミクロン株の第6波が全世界で拡大し、わが国においても驚くような感染状況が続く中で新年度を迎えました。

更に、冬季オリンピック閉会の日、ロシア軍によるウクライナ侵攻の戦争が勃発し、世界は新型コロナウイルス以上の課題を抱え、暗黒の状況に陥らされています。世界中が一刻も早く侵略戦争が終わることを固唾を呑んで願っています。

さて、2015年4月よりスタートした子ども子育て支援新制度は2022年度では6割近い園が移行し、171園が私学助成で園を運営しています。当園は、私学助成を継続して園を運営しています。

一方、2021年の出生数は、84万2,897千人となり急激な少子化が進行しています。婚姻数も前年度より12%以上減少していることから、2022年以降は一層の少子化が進み、80万人を割り込むことが予想されています。

また、採用状況も依然として厳しい状況が続いています。幼稚園教諭・保育士の養成校も生き残りをかけ学生確保に取り組んでいますが、大阪府内の殆どの養成校では定員を確保出来ていない状況になっています。更に、受験生の多くは4年制大学指向が強くなり、幼稚園教諭の免許及び保育士資格を取得した場合でも企業への就職意欲が強く、認定こども園・幼稚園に応募することが極端に少なくなっています。

当園としては、安定した事業継続を図るため、地域の少子化進行状況及び養成校はもとより、人材派遣会社等から教職員採用状況を調査・検討し、実態をしっかりと見定めてまいります。また、戦争と新型コロナウイルスの影響は当分続くものと思われ、景気の落込み

など保護者世帯の家計も厳しい状況となることが考えられることから、慎重に対応していくことといたします。

そこで、収入を安定させるため、経常費補助金の配分基準内容を十分に把握し、事務を効率化し確実に対応する。

自己評価については、確実に実施し公表しているが、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で十分検討して頂き、別紙を別紙のとおり纏め公表に努めた。自己評価については、確実に実施し公表している。また、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で検討し内容を別紙のとおりまとめた。内容を精査・検討し新年度の評価項目を策定することとした。

財務面では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が229,314千円(前年度217,570千円)、教育活動支出計216,313千円(前年度237,181千円)、教育活動収支差額13,001千円(前年度▲19,611千円)、経常収支差額比率6.02%(前年度▲8.59%)の経営状況になった。

また、人件費比率(人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計)は、59.29%(前年度58.89%)となり、前年度より上昇した。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金(第4号基本金)の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

3. 財務状況

別紙参照

4. 財務状況

学校法人 大阪鶴見学院

資金収支計算書

(単位:円)

科目	2021年度
学生生徒等納付金収入	100,956,260
手数料収入	365,000
寄付金収入	0
補助金収入	86,256,000
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	36,194,780
受取利息・配当金収入	865,888
雑収入	5,542,696
借入金等収入	0
前受金収入	7,470,370
その他の収入	49,143,484
資金収入調整勘定	△ 20,533,045
前年度繰越支払資金	87,914,885
収入の部合計	354,176,318
人件費支出	136,462,879
教育研究経費支出	29,227,537
管理経費支出	31,625,331
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	0
施設関係支出	12,009,037
設備関係支出	1,852,600
資産運用支出	10,000,000
その他の支出	28,855,010
資金支出調整勘定	△ 3,572,033
次年度繰越支払資金	107,715,957
支出の部合計	354,176,318

事業活動収支計算書

(単位:円)

科目	2021年度
学生生徒等納付金	100,956,260
手数料	365,000
寄付金	0
経常費等補助金	86,256,000
付随事業収入	36,194,780
雑収入	5,542,696
教育活動収入計	229,314,736
人件費	136,462,879
教育研究経費	43,681,866
管理経費	36,168,543
徴収不能額等	0
教育活動支出計	216,313,288
教育活動収支差額	13,001,448
受取利息・配当金	865,888
その他の教育活動外収入	0
教育外活動収入計	865,888
借入金等利息	0
その他の教育活動外支出	0
教育外活動支出計	0
教育活動外収支差額	865,888
経常収支差額	13,867,336
資産売却差額	0
その他の特別収入	0
特別収入計	0
資産処分差額	0
その他の特別支出	63,000
特別支出計	63,000
特別収支差額	△ 63,000
基本金組入前当年度収支差額	13,804,336
基本金組入額合計	△ 14,451,317
当年度収支差額	△ 646,981
前年度繰越収支差額	131,824,951
基本金取崩	0
翌年度繰越収支差額	131,177,970
(参考)	
事業活動収入計	230,180,624
事業活動支出計	216,376,288

貸借対照表

(単位:円)

資産の部	
科目	2021年度
固定資産	1,325,868,775
流動資産	120,885,002
資産の部合計	1,446,753,777
負債の部	
科目	2021年度
固定負債	245,700
流動負債	15,443,277
負債の部合計	15,688,977
純資産の部	
科目	2021年度
基本金	1,299,886,830
繰越収支差額	131,177,970
純資産の部合計	1,431,064,800
負債及び純資産の部合計	1,446,753,777

財産目録

(単位:円)

1. 資産総額	1,446,753,777
I 固定資産	1,325,868,775
II 流動資産	120,885,002
2. 負債総額	15,688,977
I 固定負債	245,700
II 流動負債	15,443,277
3. 正味財産	1,431,064,800

監 査 報 告 書

2022 年 5 月 21 日

学校法人 大阪鶴見学院
理事会・評議員会 御中

学校法人 大阪鶴見学院

監 事 安間 正和
監 事 嶋谷 かねこ

私たちは、学校法人大阪鶴見学院の監事として、私立学校法第37条第3項及び寄附行為第16条に基づいて同学院の2021年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）における業務及び財産の状況について、理事会その他重要会議に出席するほか、理事長から学校運営の報告を聴取し、重要書類を閲覧し、会計監査人から報告説明を受け、事業報告書及び計算書類等を調査いたしました。

監査の結果、私たちは、同学院の業務及び財産の状況に関して不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められませんでした。

また、財務に関する計算書類は学校法人会計基準に準拠しており、学校法人大阪鶴見学院学園の2022年3月31日現在の財務状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めます。

（注）監事安間正和及び監事嶋谷かねこ共私立学校法第38条第5項に定める外部監事であります。